

横浜市教育委員会より令和4年11月7日付で、Jアラートに関する注意喚起がありましたのでお伝えします。

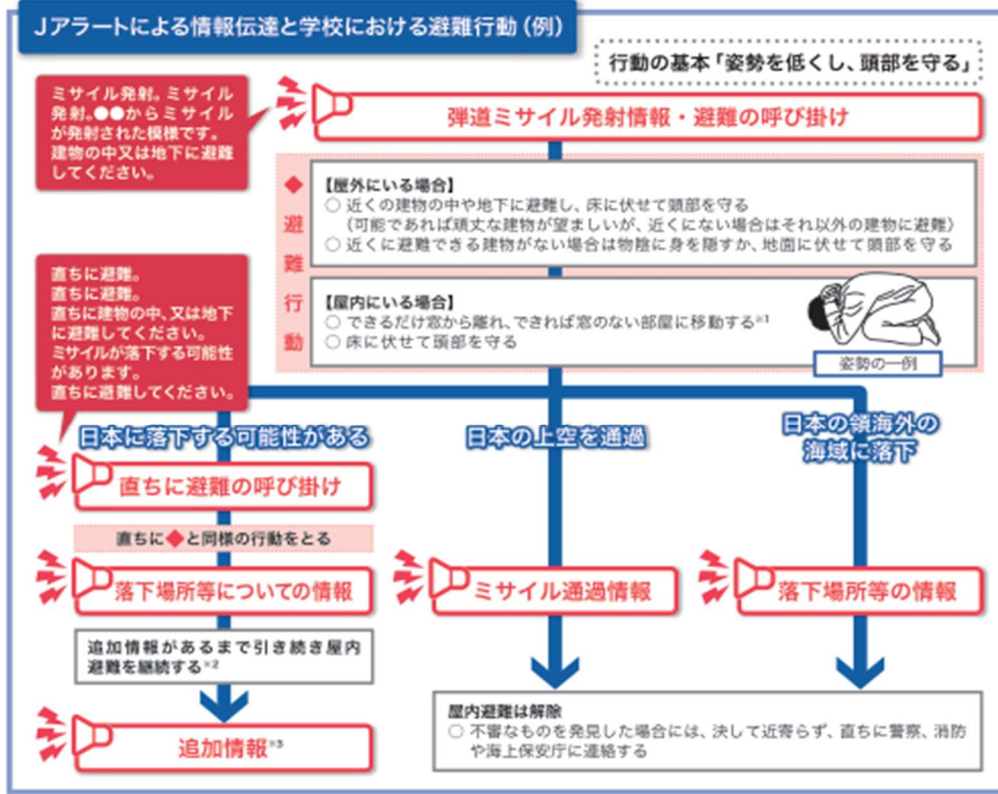
1 弾道ミサイル発射に係る対応について

弾道ミサイルが発射され、日本に飛来する可能性がある場合は、Jアラート等により情報伝達されます。Jアラートにより国から緊急情報が発信されると、これを受信した市町村では、防災行政無線の警報が屋外スピーカー等を通じて流れるなど、様々な手段により住民へ情報が伝達されます。また、携帯電話等にもエリアメール・緊急速報メールが配信されます。

【1】Jアラートを通じて緊急情報が発信された際の対応

弾道ミサイルが着弾した際は、爆風や破片等による危険が想定されるため、それらから身を守る行動をとることが必要です。正しい知識を身に付け、適切な避難行動をとることにより、被害を最小限にすることが可能です。

(1) Jアラートによる情報伝達と学校における基本的な避難行動の流れ



文部科学省 HP より抜粋しました。

「横浜市学校防災計画より」

① 速やかな避難行動

Jアラートのメッセージが流れたら落ち着いて、直ちに行動してください。

- ・屋外にいる場合：近くの建物の中か地下に避難。
(できれば頑丈な建物が望ましいものの、近くになければ、それ以外の建物でも構いません。)
- ・建物がない場合：物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る。
- ・屋内にいる場合：窓から離れるか、窓のない部屋に移動する。

<近くにミサイルが落下した場合>

- ・屋外にいる場合：口と鼻をハンカチで覆い、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内又は風上へ避難する。
- ・屋内にいる場合：換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。

② ミサイルの落下物を発見した場合

- ・決して近寄らず、警察・消防に連絡する。

③ 登下校時等の留意事項

- ・登校前にJアラートが発信された場合は、自宅待機とする。
- ・Jアラートの続報等で、ミサイルが上空通過・領海外に落下したことを確認した場合は、原則として登下校を再開する。
- ・ミサイルが横浜市内に落下した場合は、行政からの指示に従って、落ち着いて行動する。